

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20530471

研究課題名（和文） ジェノサイドと集団暴力に対する比較研究

研究課題名（英文） Comparative Research on Genocide and Mass Violence

研究代表者 C・P Scherrer

広島市立大学・平和研究所・教授

研究者番号：10347619

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会学・社会学

キーワード：ジェノサイド、紛争要因、紛争予防、先住民の権利

1. 研究計画の概要

研究の核となるものは、以下の事例の現地調査である。

(1) ルワンダ、コンゴ、東チモールを例とする世界各地のジェノサイドや集団暴力

(2) アフリカ東部の海賊問題を例とする各地の脅威

(3) 世界の少数民族を例とする社会的弱者保護の問題

(4) アフリカ連合の平和安全保障委員会などにおける紛争予防対策の検討

(5) 大湖周辺国国際会議(CIRGL)などにおける国連の役割

(6) ルワンダのガチャチャ法廷の事例をカンボジアに応用する革新的プロジェクト

2. 研究の進捗状況

(1) 上記の現地調査に係る事例の報告書

(2) アフリカ連合の平和安全保障委員会との協力関係の構築

(3) カンボジアの NGO とジェノサイド後の司法制度の確立に向けた協働

3. 現在までの達成度

① 当初の計画以上に進展している
計画当初は、アフリカの海賊問題は予備的研究に留めるものであったが、アフリカ東部ケニアでの調査に踏み込んだものになっている。

4. 今後の研究の推進方策

(1) これまでの調査結果の検討や報告書作成に向けての作業を進める。

(2) ガチャチャ法廷の事例に学ぶ、カンボジアの NGO との協働を成功に導く。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

C・P Scherrer、"The Making of a New State: Roles of UN and Civil Society, Successes, Failures and Challenges Ahead in Timor Leste"、タンペレ平和研究所(フィンランド)の論文集 Vesa へ掲載、114-159、2008、査読無

[学会発表] (計7件)

C・P Scherrer、"Utilisation de la Convention des NU sur la Prévention et la Répression du Crime de Génocide du 9 Déc. 1948"、学会名：Génocide et Justice en Afrique Centrale、2009年3月23日、ブジュンブラ(ブルンジ共和国)

[図書] (計2件)

C・P Scherrer、"USM"、出版社：Genocide by Sanctions、2011年6月発行予定

[その他]

テレビ報道：放映日 2011年1月9日、放送局：スイス放送協会 TSR チャンネル、内容：南部スーダンの分離に関する住民投票の現地調査

<http://www.tsr.ch/video/info/journal-19>

[h30/2875927-soudan-les-soudanais-du-sud-doivent-se-prononcer-sur-leur-independance-cette-semaine.html#id=2875927](#)